

柴田製作所（緑区下九沢）は、オイルフィルターのコア部品（オイルエレメント部品）加工が主力で、鉄板などの素材に無数の穴を開けて筒状に丸める技術を得意としています。オイルエレメント部品は、自動車やオートバイのエンジン部品であるオイルフィルターに使われるものです。同社はこれまで熟練した職人技による手作業を強みとしてきましたが、機械による半自動化を進め、生産性向上にも取り組んでいます。そんな同社の柴田英児社長に、技術の詳細や今後の展望などについて聞きました。

「オイルエレメント部品の加工について教えてください。」

「自動車やオートバイなどのエンジン内部では、潤滑油の一種であるエンジンオイルが循環していますが、汚れや不純物を取り除き、きれいに保つためにフィルターを取り付けています。よく自動車の点検時に整備工場から『オイルフィルターを交換しませんか』と言われると思いますが、当社はそのオイルフィルターに格納されているオイルエレメント部品を作っています。具体的には、鉄板に無数の穴を開けた上でその材料を丸め、さらにスポット溶接でつなぎ合わせて完成させます」

「技術的な強みについて教えてください。」

「1枚の鉄板を筒状に丸めるローリング技術に長けているところですね。さまざまな厚みの鉄板を、熟練の技術と汎用（はんよう）機械によって正確な円筒状にできます。加工の大半は手



作業で行い、スポット溶接は主に女性スタッフが担っています。その際、女性でも作業がしやすいよう、特殊な治具を導入することによって作業効率と品質を高めています」

「一方、生産性向上のため、製造の半自動化にも取り組んでいます。今回、相模原商工会議所のサポートを受けながら申請した小規模事業者持続化補助金に採択され、『丸め加工機（ロール機）』を導入しました。板をセットするのは手動ですが、それ以降は自動で丸めてくれます。これにより、機械でできることは機械に任せ、熟練の技が必要な加工は人の手で

行えるようになりました。ものによっては以前と比べ、生産性が倍近くにまで高まりました」

「取引先数も増えています。」

「以前は1社依存に近い体質でしたが、顧客を増やすために業界団体のホームページを調べ、名簿に載っ

「金属を丸める技術」で飛躍 熟練のワザと自動化を両立

柴田製作所 代表取締役 **柴田 英児**さん



ている企業に次々とFAXを送りました。その後、代表電話に『購買担当の方にあいさつしたい』と、アポ取りを積極的に進めました。言ってみれば飛び込み営業ですが、狭い業界であるため、ほとんどの企業が担当者につないでくれました。私が所属する相模原市青年工業経営研究会（青工研）の仲間の後押しもあり、現在は取引先を10社まで増やしました」

「今後の目標についてお聞かせください。」

「フィルター製品は自動車向けだけでなく、さまざまな産業でも使われています。住宅関連や食品分野などにも販路を拡大していきたいです。当社は住宅地に立地していますが、お陰様でクレームが来ることもなく事業が継続できています。そのため、今後は地域、社会に貢献できる会社になりたいと思っています。具体的には地元の方を採用できたらと考えています」